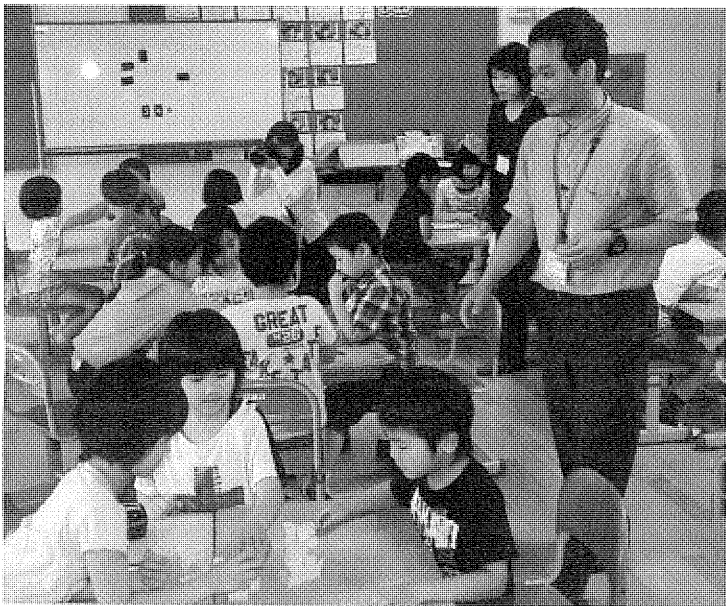


# 遊び感覚で楽しく学習

## 人吉市の「花まる教室」

### 東小2年生イキイキと

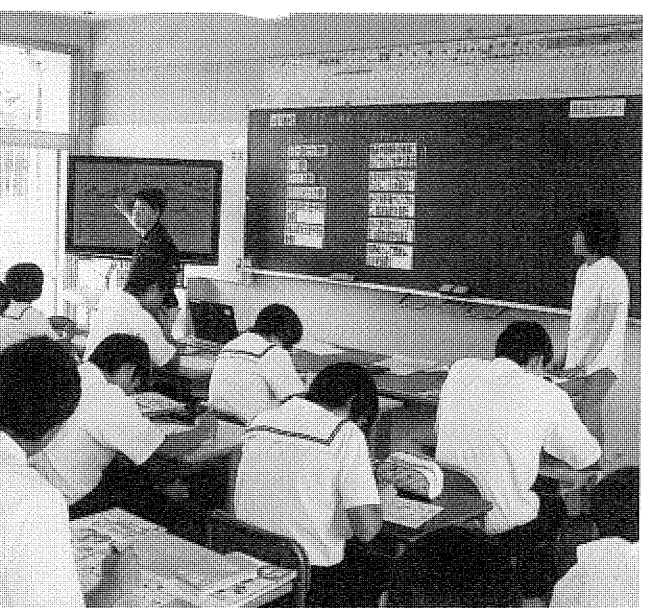


ブロックを使って立体感を養う児童たち

民間学習塾のノウハウを生かして週1回の放課後、人吉市内の小学2年生を対象に学習指導する「花まる教室」が6日から、人吉東小（東寛校長）でスタートした。同市が取り組む児童の学習能力アップに向けての第3弾で、同小での効果を考慮しながら10月から全小でも導入する。

花まる教室は、人吉市出身の高濱正伸さんが経営する学習塾「花まる学園」（本部・さいたま市）のユニークな指導方式を採用し、2年生児童の学習能力を伸ばそうというもので、初年度は事業費700万円を予算化。すでに4月から、同学園指導者の和泉潤平さん（24）が市教委に派遣され、開講準備を進めてきた。

希望する児童を対象に週1回、放課後に1時間実施。児童の費用負担はない。東小では2年生81人のうち3分の2の53人が受講を希望した。初日は2学年ホールに机を並べ、3〜4人でグループを構成して学習が始まった。講師の和泉さんの声に合わせて「見る、聞く、姿勢、はい（返事）えんぴつ」と唱和したあと、数人が将来の夢について発表を引き続いて同学習塾で活用する木製ブロック、カード、プリントなどを使い、ゲーム感覚で学習を進めた。和泉さんによると、児童の空間力、想像力、計算力の育成に役立つという。



人吉二中3年生を対象に開かれた出前講座

## 賢い消費者になろう

### 人吉一中で「出前講座」

人吉市消費生活センターはこのほど、人吉一中（中村裕実校長）で消費者出前講座を開き、3年生に賢い消費者になるための知識など指導した。中学校の出前講座は今回が初めてで、今後は要請があればほかの中学校でも開催するという。

高齢者をターゲットにした悪質商法だけでなく、携帯電話やパソコンなど若者が被害に遭うワンクリック詐欺も多発するなど、最近では年齢層に関係なくトラブルに巻き込まれるケースが増えている。中学3年生は技術家庭科で、「身近な消費生活と環境」を学んでおり、より生きた教材を提供しようと同センターが学校に依頼して実現した。

1時間の学習を終えた岩元ひろかず君（7）は「普通の勉強と違って遊びながらの勉強なので楽しかった。2年生全員が参加するともっと楽しくなるんだが」と話した。市教委では2年前から、4〜6年生を対象にした通年の「放課後パワーアップ教室」を開催。2008年度からは3年生が対象の「夏休みパワーアップ教室」を実施しており、今回の「花まる教室」によって1年生を除く全学年での課外授業が実現する。

5月末からクラスごとに実施。7日の最終日は1組で開いた。この日は同センター指導員の塩田真知子さんが講師となり、消費者の権利と責任について講義した。その中で塩田さんは、消費者には「知らされる権利」「選択する権利」などがある反面、責任も生じると指摘。賢い消費者になるよう訴えた。